

せんだいし く  
仙台市で暮らす

しょうがい ひと けいかく  
障害のある人のための計画

けいかく たいせつ せつめい ばん  
計画の大切なところを わかりやすく説明する版

ちゅうかんあん とちゅう けいかく  
中間案(つくっている途中の計画)

---

しみん いろいろ いけん  
市民のみなさんから 色々な意見をもらって

けいかく  
計画をつくっていきます

れいわ ねん がつ  
令和5年12月

せんだいし  
仙台市

## この計画について

この計画は 次の3つの計画を 1つにまとめたものです。

① 「仙台市障害者保健福祉計画」

障害のある人 についての

取り組みの方向性を 定めるための 計画

② 「仙台市障害福祉計画」

障害のある人が 福祉サービスなどを 使うための計画

③ 「仙台市障害児福祉計画」

障害のある子どもが 福祉サービスなどを 使うための計画

## なぜ この計画をつくるのか？

○ 仙台市で暮らす 障害のある人たちが

ひとりひとりの 障害にあわせて

暮らしやすいと思えるように この計画をつくっています。

○ 障害のある人や 障害のある子どもが ひとりひとりにあった

福祉サービスなどを 使って 安心して生活できるように

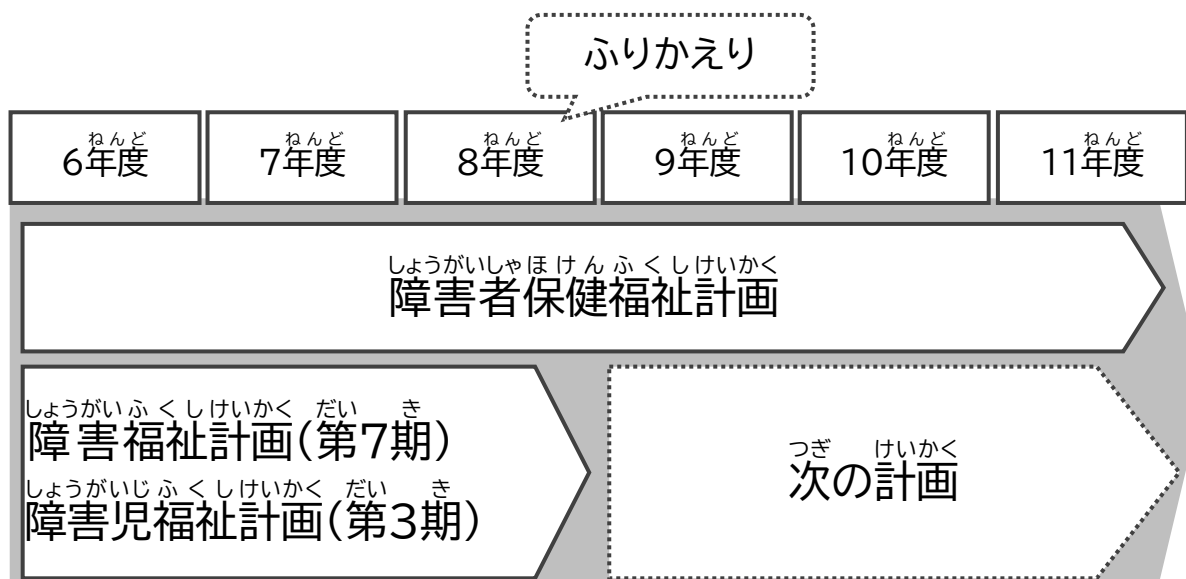
計画をつくっています。

## だれのために この<sup>けいかく</sup>計画をつくるのか？

- この<sup>けいかく</sup>計画は <sup>せんだいし</sup>仙台市で暮らす <sup>しょうがい</sup>障害のある<sup>ひと</sup>人を含む  
すべての<sup>ひと</sup>人のために つくっています。
- <sup>しょうがいしゃてちょう</sup>障害者手帳を <sup>も</sup>持っていない<sup>ひと</sup>人でも  
<sup>こま</sup>困っている<sup>ひと</sup>人がいれば <sup>てだす</sup>手助けしていきます。

## いつまで この<sup>けいかく</sup>計画にと<sup>と</sup>く<sup>く</sup>り組むのか？

- <sup>れいわ</sup>令和6年度から <sup>れいわ</sup>令和11年度までの <sup>ねんかん</sup>6年間  
と<sup>と</sup>く<sup>く</sup>り組んでいきます。
- <sup>けいかく</sup>計画をはじめて3年目の <sup>ねんめ</sup>令和8年度に <sup>なに</sup>何ができて  
<sup>なに</sup>何ができなかったか <sup>おこな</sup>ふりかえりを 行います。



## 仙台市には障害のある人はどのくらいいるのか？

### ◆ 障害者手帳を持っている人数（令和5年3月31日時点）



※2つ以上手帳を持っている人の数も含まれます。

## 仙台市は どんなまちを目指しているのか？

障害のある人にとっても 障害のない人にとっても  
ともに暮らしやすいまち

### ○ 平成19年に 障害のある人の 権利を守るために

「障害者の権利に関する条約」が 世界中で

決まりました。日本でも それを守るために

取り組んでいます。

- 平成28年に 仙台市では 障害のある人への差別を  
禁止する 条例をつくり 令和5年に条例を改正しました。
- 仙台市は 障害のある人も 障害のない人も  
いっしょになって 暮らしやすいと思えるような  
まちを 目指しています。
- 仙台市は これまでもずっと この目標を持っていましたが  
これからも大切にしていきたいと 考えています。

## 暮らしやすくなるために 大切なことは何か？

- 自分がやりたいことが できることや  
自分らしく 生きていけることが とても大切です。
- いろいろな障害のある人や  
障害や 困っていることを あまり分かってもらえず  
暮らしにくさや 生きづらさなどを 感じる人がいます。

○ 他<sup>ほか</sup>の人<sup>ひと</sup>の考<sup>かんが</sup>え方<sup>かた</sup>を 大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>にすることや

こま  
困<sup>こま</sup>っているときに おたがいに<sup>たす</sup>助けあえるよう

と く すす ひつよう  
取<sup>と</sup>り組<sup>く</sup>みを 進<sup>すす</sup>めていく 必<sup>ひつ</sup>要<sup>よう</sup>があります。

○ 仙<sup>せん</sup>台<sup>だい</sup>市<sup>し</sup>では 障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>のある人<sup>ひと</sup>も 障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>のない人<sup>ひと</sup>も

みんなが<sup>き</sup>気<sup>も</sup>持<sup>も</sup>ちよく 暮<sup>く</sup>らせるまちを

みんな<sup>め</sup>でつ<sup>ざ</sup>くって<sup>ざ</sup>いくことを 目<sup>め</sup>指<sup>ざ</sup>しています。

## どんなことに <sup>と</sup> <sup>く</sup> 取り組んでいくのか？

### ① <sup>しょうがい</sup> 障害のことを <sup>し</sup> みんなに知ってもらうこと

- <sup>こ</sup> 子どもから <sup>おとな</sup> 大人まで <sup>せんだいし</sup> 仙台市で <sup>く</sup> 暮らす <sup>ひと</sup> 人たちに <sup>しょうがい</sup> 障害のことを <sup>し</sup> もっと知ってもらいます。
- <sup>じぶん</sup> 自分の <sup>せいかつ</sup> 生活を <sup>じぶん</sup> 自分で <sup>き</sup> 決める <sup>けんり</sup> 権利を <sup>まも</sup> 守ります。

### ② <sup>しょうがい</sup> 障害のある <sup>こ</sup> 子どもの <sup>せいかつ</sup> 生活を <sup>てつだ</sup> 手伝えること

- <sup>しょうがい</sup> 障害のある <sup>こ</sup> 子どものことで <sup>かぞく</sup> 家族が <sup>なや</sup> 悩んだときに <sup>す</sup> いつも <sup>ばしょ</sup> 過ごしている <sup>ばしょ</sup> 場所で <sup>そうだん</sup> 相談できるようにします。
- <sup>しょうがい</sup> 障害がある <sup>こ</sup> 子どもの <sup>せいかつ</sup> 生活をお手伝いするための <sup>と</sup> <sup>く</sup> 取り組みをします。

### ③ 地域ちいきで暮くらすことができるように手て伝だうこと

- 障害しょうがいのある人ひとが 自分じぶんが住すみたい地域ちいきで

暮くらせるように ひとりひとりの

障害しょうがいにあわせて 相談そうだんができるようにします。

- 障害しょうがいのある人ひとの 生活せいかつをお手て伝だいするための

と 組くみとをします。

### ④ 自分じぶんらしく活かつ動どうや仕し事ごとができるようにすること

- みんなが 働はたらきたいところで 働はたらけるような

と 組くみとをします。

- スポーすツぽー 趣しゅ味み 音おん楽がく 絵かい画がなどの活かつ動どうが

もたっとの楽きしめかいる 機き会かいをつくります。

### ⑤ 安あん心しんして生せい活かつできるよように施し設せつななどをつつくくること

- いろいろいな 障しょう害がいにああわわせせて 使つかいいややすすい 施し設せつや

かかよよううにに 通しうせつことができる 施し設せつをつつくくっいていきます。



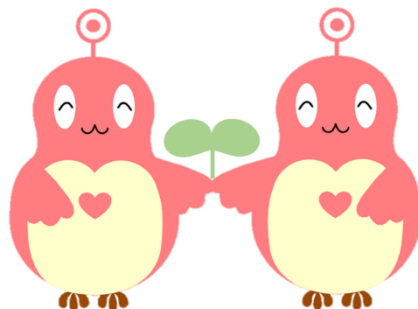
## しょうがいふくしけいかく しょうがいじふくしけいかく 障害福祉計画・障害児福祉計画で めざ 目指していること

- 施設で生活している人が 施設から出て  
家やグループホームなどで 生活できるようにします。
- 障害のある人の障害が重くなったり 障害のある人が  
年をとったりしても 自分が住みたい地域で  
安心して 生活できるように 生活をお手伝いする  
しくみづくりを 進めます。
- 福祉施設で働いている 障害のある人が  
会社などで働くための お手伝いをします。  
また 会社などで働いている 障害のある人が  
働き続けられるための お手伝いや  
お手伝いするしくみを作ります。
- 障害のある子どもが とともに暮らすために  
幼稚園や保育所などの 手助けをします。

- おも しょうがい こ かがよ しせつ  
 重い障害のある子どもが 通える施設の  
 かくほ めざ  
 確保を目指します。
  
- いしや かんごし てだす  
 いつもお医者さんや看護師さんの手助けがいる  
 しょうがい ひと おな  
 障害のある人についても 同じように  
 せいかつ てつだ  
 生活をお手伝いします。
  
- しょうがい こ おとな  
 障害のある子どもが 大人になるときに  
 つか さーびす えら てつだ  
 使うサービスを 選ぶお手伝いをするための  
 しくみをつくります。
  
- こま とき しょうがい ひと  
 困ったことがあった時に 障害のある人や  
 かぞく そうだん  
 その家族が 相談しやすくなるようにします。
  
- しょうがい ひと しょうがい こ  
 障害のある人や 障害のある子どもが  
 よ ふくし さーびす う  
 より良い福祉サービスを 受けられるようにします。

## どのように 取り組んでいくのか？

- 障害のある人や その人といっしょのまちに暮らしている人などと  
力をあわせて 計画を進めていきます。
  - いろいろな障害のある人に 計画をお知らせするために  
点字や音声を使うなど わかりやすい方法で 計画をつくります。
  - 仙台市障害者施策推進協議会(※)で 話しあったり  
障害のある人や その家族などから 話を聞いたりしながら  
計画がどれくらい進んでいるかを 確認していきます。
- ※障害にくわしい人や 障害のある人や 障害のある人を  
手助けしている人たちが 集まって話し合いする場



仙台市障害理解促進キャラクター  
「らっこん」

令和5年12月

編集・発行 / 仙台市健康福祉局障害福祉部障害企画課

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

電話番号 022-214-8163

FAX 022-223-3573

E-mail fuk005330@city.sendai.jp